



35分で1人5,000元と高額

上海初となる、ヘリコプターによる遊覧飛行サービスが2015年3月29日、正式にスタートしました。約35分間の飛行で料金は1人4,999元(約10万円、1元=20円で計算)です。一度に最大5名までの観光客が登場可能です。

遊覧コースは、上海浦東新区高東鎮の高東ヘリポートを出発し、共青森林公園、世紀公園上空を経て、万博園区、黄浦江に至る全長約40kmです。世界各国で警察、救急などでも活躍する、エアバス・ヘリコプターズ社のEC135型ヘリが用いられます。



△空中遊覧コース



△EC135型ヘリコプターの様子

高額な価格設定の理由と他都市との比較

今回の遊覧ヘリを運営する「起徳航空」の総経理助理 李文軍氏は、「飛行時間15分ほどで1人2,499元の HALF コースも選択可能であります。高額な価格設定は、富裕層をターゲットにしていることと、他国に比べて運営コストが高いことが理由に挙げられる」と述べています。

ヘリによる観光は世界の主要都市で一般化しており、例えばニューヨークでは複数企業が様々な遊覧コースを用意しています。乗客はイヤホンを通じてガイド音声を聞くことができ、記念写真、ビデオ撮影がセットになったものも多いです。価格は15分の飛行で150ドル(約1.8万円、1ドル=120円で計算)前後です。東京ナイトヘリクルーズは約5万円(貸切2人)が相場です。以上より上海の価格が突出して高いことが分かります。

中国は低空域の飛行禁止エリアが多いのも特徴です。上海では陸家嘴エリアなどが飛行禁止となっており、遊覧コースから外されています。

「起徳航空」は、遊覧ヘリ計画は昨年10月に行政部門へ提出、12月に承認を受けました。今年3月29日に民航上海監管局局長より正式に「ヘリコプター空中旅遊観光手帳」と「運営規範」が発行され、正式な営業開始しました。

高層ビルが林立する上海中心部は、ニューヨークと比べても遊覧観光の需要は多いと考えられ、今後の普及には行政手続きの簡素化、対象機種緩和によるコスト低下が課題となります。

出所:「中国民航網」よりジェック上海整理

【お問合せ】



皆愛企業管理諮詢(上海)有限公司
株式会社ジェック経営コンサルタント上海事務所
ADD: 中国上海市長寧区遵義南路88号2305室
TEL: +86-21-61157069 FAX: +86-21-61157389

